

A班

参加者 大場たつ子 林昭光 小平史伸 高柳博史 守谷康弘 野口雅人

主要な取り組み課題の整理・絞り込み

人の連携

- ・町民の町民としての自覚と意識の高揚（地域連帯）

ゆとり・魅力あるまちづくり

- ・工場をあまり誘致しない。ゆとりある仕事を増やす。（ゆとりのあるまち）
- ・都市化しないのどかな町に
- ・魅力ある町、個性的な町
- ・高い建築物を作らせない。

高齢化対策

- ・高齢者に生きがいある仕事を。
- ・地域ぐるみで支えあう高齢者福祉

病院

- ・病院の経営をより良く。
- ・病院の充実。

福祉

- ・ボランティア意識のある方の活用

子育て支援

- ・子育て支援（少子化を克服する）
- ・少子化対策
- ・少子高齢化の問題
- ・子育て・福祉 保育園不足
- ・子育て・住環境 若い人達の住宅不足（若夫婦）（親世代との同居を望まない人達）



若者の出会いの場

- ・若者が結婚しない。出会いの場が少ない。

産業振興、雇用

- ・産業振興（雇用と財源確保）
- ・都市基盤産業。働く場所の不足（老若男女、押し並べて）

商店街の活性化

- ・個人事業者の先行き不安（特に商店街）
- ・商業、商店街の振興
- ・商店街の活性化

地域の良いところを生かす

- ・農業、林業、商業と多様に備えられた町を十分に生かせる事。
- ↓
- ・地産地消がされていない

教育

- ・教育の充実（個々の学力や教養を育成する。）
- ・型だけの社会教育でなく誰もが参加できる生きたもの

教員

- ・教育の充実 教員数の増大

人口の安定化

- ・人口の安定化（森町に適した人口、目標を決める）
- ・勤労・就労人口の減少
- ・若者の流出

定住

- ・若者が森町に定住して安心して暮らせる町

観光

- ・観光・産業 伝統をより生かす観光とは。
- ・観光化が進まない
- ・一部施設（小国神社、アクティ森）しか観光産業が成り立たない。
- ・旧家買取制度
- ・地域資源を生かした観光ネット作りをしたい
- ↓ ↑
- ・森町だけでなく近隣市町村との協力（観光）

交通問題

- ・バス路線網の整備
- ・交通問題
- ・交通網について考えたい（行き止まりの所が多い）

安心して住める（防犯）

- ・子どもを守るボランティアがいると良い。（防犯・交通安全）
- ・防犯 警察署の移転縮小
- ・安全な町、防犯等

行財政改革

- ・行財政改革（財政の見直し、行政の合理化）
- ・町財が少ない
- ・町予算を生産性のあるものに向ける

環境保全（水辺・水質）

- ・自然が少なくなっている（きれいな川の水、空気、環境）
- ・水辺が少ない
- ・環境 水質悪化

このようなところに力を入れてまちづくりを

1. 地域での子育て（保育・教育）に力を入れる

- ・身近に保育園をほしい→地域の空き家を活用した保育施設（地域の高齢者など）
- ・子どもを抱えている人の子育て支援に絞り込んだら良い。
- ・働きたい人が働けるように、保育園の充実→保育園のまちへ
- ・保育園（社会性）と家庭の愛情の両立が大切



- ・財政が成り立つか



2. 財源確保のため商店の活性化



- ・まちなみづくり



- ・子育てスペースを商店街に。

3. 町財政の見直しと健全化



支出見直し
収入増

- ・観光客がまちの中に入りやすくする→消費
- ・他とは違う観光地づくり→空き地に地場の街並みにあった商店を集める→土地の提供を町で
- ・森町の特長を生かした施策（遠州の小京都・琴など）
- ・集中して投資する

4. 地域活動に参加する人をもっと増やすー無償、有償で

- ・ボランティアを育てる。お金を出さなくても良い。
- ・男性ボランティアを増やす。
- ・有償ボランティアも必要。

B班

参加者 二藤勲 山本玲子 花嶋政美 岩田春喜 山口光宏 倉嶋要介 山浦麻由子

健康福祉

問題

授産所が隔離されている
障害者への援助不足
高齢者の介護予防を！
高齢者の今後の職業
高齢化、少子化（小学生が少ない）

希望

- 子育て支援
- 子育てなくして活性化なし。長泉町
- 福祉の学校ができたらいい。
- 天浜線に森町病院駅を。

高齢者の交通手段

観光

問題

観光客が一ヶ所を目指してくるだけ。
観光への取り組みが中途半端。一人よがり。
外へのPRは下手。
宿泊施設

希望

- 観光のPR
- 町の観光の発達（観光地への発達）
- サザンカ荘再建は必要。
- 自然環境をうまくアピール。自然を少し人工的に手を加え観光面のアピール。
- 森町の中心街の整備（観光地に）

○第二東名のPAの有効活用。長野小布施町のような取り組み。

産業

問題

就職先の減少
若い人の働く場所が少ない
商店街が寂れている

希望

- 特産品を利用したPR
- 森の産物を直送し森の名を広める

- レタス、メロン、お茶、お米等の農業の観光化
- 産業の活性化。地場産業の強化。
- 地域産業の発展
- 商店街の活性化
- 地元でもっと働けるように工業の発展

○農業 若者の担い手の育成。それには若者にとって魅力ある農業を。

自然・環境

問題

整備されたキャンプ場がない
夏、バーベキューをやりに来る人が多いので、川をきれいに守る。
汚れる川

希望

- 太田川の整備
- 太田川の桜トンネルがすてき
- 自然の中で遊べる施設をもう少しほしい
- 山の利用

まちづくり

問題

娯楽が少ない
山間地の過疎化
交通整備（バスが通るところが少ない）
天浜線に活を入れる。

希望

- 地区センターの改修を（特に調理室）
- 河川敷沿いに小さな遊具やサッカーゴールがほしい。
- 特技を生かせる場の情報を提供（ボランティア）
- 市民（町民）団体、NPOなどの育成を図り、町民が活発に活動。
- 中心街の道の整備
- 柿木を街路樹に。
- 通学路に歩道を。
- 幹線道路の整備

問題・希望

- ・各町内会同士の連絡（コミュニケーション）
- ・人と人とのつながりをつくる

コミュニティバスは必要。
観光にも、福祉にも。

○第二東名を早く完成させる

教育・文化

問題

人間国宝がない
森町には伝統的な良い文化（祭り、有形・無形のもの）がある
子ども達に遊び方講座（遊び方を知らない）

希望

- 周智高の跡へ農業大学設立
- 働くところと住むところの確保

土地利用

- ・空き地の整備
- ・山間部における土地の整備
- ・太田川ダムの有効利用
- ・オートキャンプ場 そこに温泉やカヌーなどのレジャー施設

C班

参加者 山田正光 小倉豊寿 小澤雅美 齋木薫 辻克美 畑中豊子

